

アジア最大規模、
中国国内で最も優れた
近代的経済新区



T Tianjin
E Economic-technological
D Development
A Area



天津経済技術開発区 日本事務所

TEL.03-3221-8298 FAX.03-3221-8299
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-4-7 アトム麹町タワー4F
<http://www.teda.gov.cn>
代表 劉楽 E-mail: liuy@tedajp.com

天津経済技術開発区商務局コールセンター

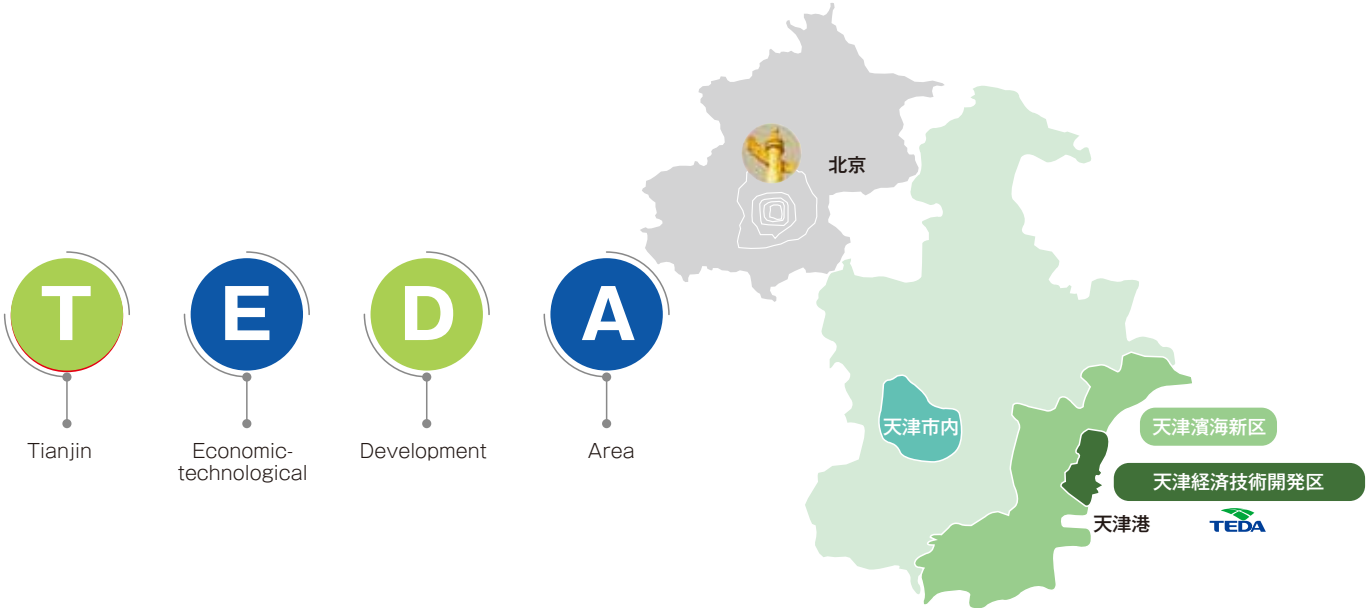
TEL.(86)22-2520-2247 FAX.(86)22-2520-1021



天津経済技術開発区



中国経済発展の中核として期待が高まる 天津滨海新区とTEDA



環渤海経済圏を牽引する天津滨海新区

環渤海経済圏は、長江デルタ経済圏(上海・蘇州)、珠江デルタ経済圏(広州・深圳)と並ぶ中国三大経済圏の一つで、良好な港湾と工業インフラの集積、北京・天津という主要都市に隣接する地域として世界中の企業から熱い視線を集めています。中国政府はこの天津滨海新区を対外開放重要戦略エリアと位置付け、環渤海経済圏の一層の振興を図ることを決定しています。

製造基地と消費市場という 2つのポテンシャルを持つ天津滨海新区

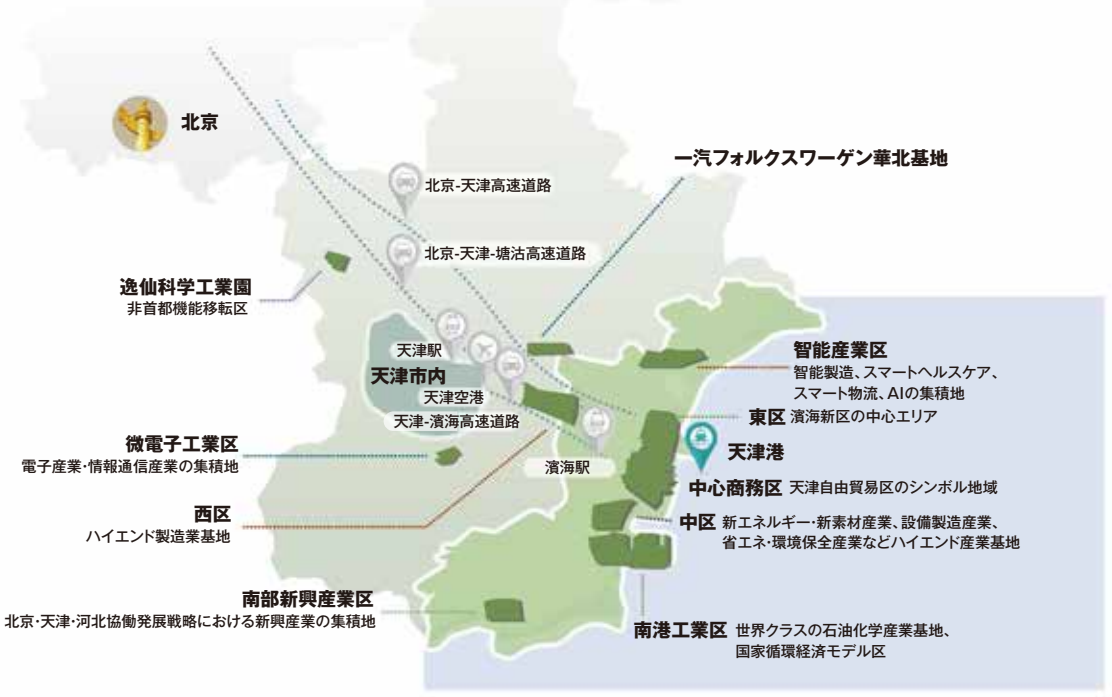
1994年に開発がスタートした天津滨海新区は、高度に発達した交通網と確立された工業基盤、さらに科学技術における豊富な人的資源と学術研究機関を有する一方、大きな流通・消費市場である北京・天津という二大直轄都市を後方に供えています。

天津滨海新区の中核的存在をなす TEDA(天津経済技術開発区)

TEDAは1984年に中国中央政府によって認定された14ヵ所の国家級開発区の一つで、設立35年を経た現在、天津滨海新区の中心的存在として世界の企業から大きな注目を集めています。
1997年から、中国国家商務部が6つの面で国家レベル開発区に対して総合的評価を行った結果、TEDAは15年間連続でトップとなり、経済規模と産業基盤指標は17年間連続で国内首位を占めています。

世界のトップ企業が選択した「成功のTEDA」

TEDAは滨海新区において最大の規模を誇り、35年に及ぶ発展の中で「一区十園*」の構造が形成され、それぞれ特色ある複数の基幹産業が発展しています。
天津港に近く、地理的に恵まれた立地のため外資系企業が多数進出し、グローバル化によるビジネス環境が整っています。現在世界から5613社の外資企業が進出し、中でも「巨人」といわれる世界ベスト500社のうち282社の企業が382項目のプロジェクトに投資しており、2018年実質ベースの外資利用額は187.14億USDとなっています。また、進出企業に対する投資環境整備も発展・向上し、充実したサービス体制が整えられています。
(*一区十園:1開発区の傘下に10の副産業団地を設置すること)



発展が期待されるTEDAの先進的製造業と近代的サービス産業

TEDAには中国最高レベルの投資環境が整えられており、現在日本をはじめ海外の有力企業5613社が操業しています。なかでも先進的製造業と近代的サービス産業は世界最先端レベルの多国籍企業が進出し、今後の更なる発展が期待されています。

自動車・機械製造産業

〈自動車〉VW、一汽トヨタ、長城、華泰など完成車メーカー4社。
〈機械製造〉デンソー、アイシン精機、アイシンAW、トヨタ紡績、東海理化、富士通テン、など

電子・情報通信産業

〈代表的プロジェクト〉
天河一号、サムスン、中科曙光、テンセント、など

石油化学産業

華北地区における最大の石油精製・加工基地

設備製造産業

風力発電設備、
海洋工程設備産業において国内トップ

バイオ・医薬産業

化学製剤、バイオ製品、近代漢方薬におけるトップランナー
〈医療機器〉ノボルディスク、ノボザイムス、GSK、GEヘルスケア、など

先進的製造業



金融産業

三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、HSBC、BOC、など

本部経済
(Headquarters Economy)

イオンモール、カンシーフー、中環電子、天津渤海轻工グループ

文化・マスコミ産業

WANGDA MEDIA、Sohu TV、QIY、H Brothers

貿易・物流産業

日本郵船(NYK)、JD.COM、TAMALL、伊勢丹、同方環球物流(TFGL)など

観光産業

極地海遊館、ダイグ砲台

現代サービス業



環境分野のモデル都市として
中国の開発区を牽引するTEDA

国家戦略として環境分野における世界のトップランナーをめざす中国は、低炭素経済の基礎づくりのために天津市をモデル都市に指定し、他の国家レベル級開発区を牽引するさまざまな取組を行っています。

日中低炭素経済協力プラットフォームの構築

中国政府は日本との環境分野における交流を広範囲に行い、低炭素経済発展のためのプラットフォームの構築を推進しています。これによって低炭素産業のシーズを育成し、優良な企業やインフラ等の資源集中により環境ビジネスの強化を図り、TEDAを日中共同の低炭素経済モデル地区にすることを目指しています。

日本の環境ビジネスに好機。 プラットフォーム会員を募集

世界をリードする日本の環境ビジネスにおいて、今後の海外展開は更なる高度な現地化と製品の製造販売にとどまらないトータルなサービスの提供が期待されています。その意味で、日中の力を結集して構築される低炭素経済プラットフォームへの参画は、今後の企業活動の大きなチャンスとして期待が寄せられています。TEDAはこのプラットフォームを構築するために「濱海低炭素経済促進センター」を設立し、日本企業に会員としての参画を呼びかけています。

エコのまちづくりに取り組むTEDA

TEDAは経済発展と環境保護の両立を実現するために、循環型経済の発展を推進しています。2000年にはISO14000環境認証を取得し、各産業の発展を充実することでエネルギーの有効利用や区内における資源の循環モデルを形成し、廃棄物や汚染物質の減少に取り組んでいます。また、水循環システムの構築にも力を入れ、海水淡水化、汚水処理、リサイクル水の利用を通じて区内の一体的水資源利用を行っています。

エコシティー

- 省エネ交通**
400万平方メートルの地下空間を利用し、地上における建物、道路、景観デザインとコネクションしている。
- 建物の緑化**
TEDAの低炭素展示ビルは世界最初の四つの国際省エネ認証を取得した建物である。
- 低炭素景観**
立体的スペースを利用し緑化を実現、地域全体の省エネ効率をアップする。

迎えた環渤海時代の TEDA。その優位性

1984年に国家が指定した14の経済技術開発区の中で、30年以上にわたりTEDAはトップランナーの地位を守り続けています。その大きな要因は、整備された数々の良好な投資環境にあります。環渤海時代を迎えた今日、TEDAは更なる発展と充実が期待されています。

【中国政府関係当局の強力なバックアップ体制】

①実務性と精練度の高い行政サービス

「投資環境の最適化に関する天津市の八つの規定」を実施し、「1万人の幹部が1万社の企業をサポートし、企業の発展を促進する」活動を展開し、開発区の行政サービスレベルを更に高めています。



②効率的で便利な行政審査許可プロセス

- ◆インターネット+行政サービス：3件のWeChatアカウント、1件のミニブログアカウント、1件のポータルサイト
- ◆オンライン+オフラインのサービス：行政審査許可業務のセルフ窓口端末+非営利代行サービス
- ◆複数の手続きが1回で一括処理
(オンライン申請⇒必要書類の提出⇒手続き完了⇒一部の業務は即時にライセンス取得が可能)
- ◆建設プロジェクトにおける審査許可制度の改革強化によって、審査許可期間が大幅に短縮

【投資者に有利な法律・税システム】

科学技術・工業革新局(知的財産権局)は企業向けに全方位的な知的財産権関連サービスを提供しています。

- 資格を持つ知的財産権の代行機構を推薦し、各種知的財産権の出願をサポート
- 天津市特許取得支援策の実施機構として、天津市知的財産権重点プロジェクトを出願する区内企業の選別と推薦の役割を担う
- 企業が情報の利用・分析を通して主力製品の特許出願することを推奨し、特許情報分析報告書を作成した企業に助成金を支給
- 企業の権利保護活動をサポート。代行機構による企業の法律相談を援助し、権利保護活動が成功した場合、助成金を支給
- 知的財産権管理システムの認証取得に関する内部審査員育成トレーニングを行い(無料)、資格取得者を奨励
- 知的財産権の有志プラットフォームを構築。銀行や投資機構、評価機構、担保機構などの専門機構と連携し、知的財産権を担保とした銀行融資を推進し、融資金額に基づき助成金を支給

中小企業助成振興政策

TEDA小企業信用保証センター：中小企業に短期流動資金の貸付保証を提供

貿易促進センター：国内外の各種展示会・商談会を通じて企業の製品宣伝や市場開拓・拡大を助成

生産力促進センター：信用保証やレンタル工場などの提供

【どこよりも整備されたインフラ】

- ◆完備した給排水設備
- ◆天然ガスおよび液化ガスの提供
- ◆暖房用温水および工業用蒸気の提供
- ◆ISDN、IP、DON、ブロードバンドの通信設備
- ◆工場用地、借地料が沿海地区の他開発区に比べて大幅に割安
- ◆各種レンタル工場が充実

【地理的メリット】

- ◆高 速 道 路：複数の高速道路が整備され、北京まで1時間
- ◆高 速 鉄 道：北京1時間 長江デルタ5時間 珠江デルタ・香港・マカオ10時間
- ◆天 津 港：30にのぼる内陸港を有する北方第一の港で、400以上の世界の港とつながっている。
貨物取扱量5.5億トン コンテナ取扱貨物量1506万TEU
- ◆濱海国際空港：北方最大の貨物輸送空港。270路線で世界162都市とつながっている。
貨物取扱量26.8万トン 旅客数2101万人

【豊富で優秀な人的資源】

- ◆2時間の交通圏内に6000万人の労働力人口
 - 大学／270校(国家重点大学計31校)
 - 2018年度の卒業生は77.3万人
- ◆1時間圏内の交通圏内に
 - 56校の大学
 - 2018年の卒業生は19.4万人



【コストパフォーマンスの高いCBD】

総合コストは北京の $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{3}$

- 企業の日常運営コスト **50%**
- レンタルオフィス料金 **10%**
(TEDA：2元/㎡/日 北京金融区：20元/㎡/日)
- 分譲マンションの価格 **20%**
(TEDA：2万元/㎡ 北京金融区：10万元/㎡)
- 従業員の生活コスト **65%**



中国のランドマークとして進化を続けるTEDA

シーサイドエリアの近代的国際都市で高質な暮らし

TEDAは近代化された国際的臨海都市を目指し、住民の方々に時代の先端を行く良質の暮らしを提供します。豊かな自然環境はもちろん、生活、教育、娯楽などの各分野で先進国レベルの生活が保証されています。

【エンjoyライフ】

◆さまざまな種類のレジャー施設ではイベントが常時開催され、楽しく快適に楽しむことができます。

- 極地海洋世界 ●濱海文化センター
- エアードーム体育館 ●都市公園
- クラシック音楽文化広場
- TEDA夏季芸術祭 ●市民マラソン
- TEDAライトショー



【充実した教育環境】

◆幼稚園から大学までの教育施設を完備

- 国際大学2校 ●大学3校 ●中学、小学校計8校
- 海外で初めて開校するJuilliard音楽専門学校は2019年秋に開校し、世界中から音楽関係の人材を集めます。



【安心の医療施設】

- ◆アジアにおいて最も評価の高いTEDA病院、TEDA国際心血管病院
- ◆天津市には486カ所の病院と診療所が開院



大きな希望に満ちたTEDAの未来

中央政府によって環渤海経済圏の重要な戦略地点と位置付けられた天津滨海新区は、今後さらなる発展を企図してさまざまな都市計画が進んでいます。「昨日よりも今日、今日より明日」を合い言葉に、海外投資企業の夢と希望を実現するためにより一層の充実を図っています。



主な 日本企業の 進出状況 (TEDA 東区)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. ヤクルト | 20. デンソー |
| 2. 富士通テン | 21. 村元工作所 |
| 3. トヨタ自動車
(発動機) | 22. トヨタ自動車
(完成車) |
| 4. トヨタ通商
(合金) | 23. 富士通テン |
| 5. ESK | 24. 東海理化 |
| 6. 阪東化学 | 25. アイシン精機 |
| 7. ユアサ | 26. ハードウエル |
| 8. 吉川化成 | 27. テクノホールディングス |
| 9. トヨタ自動車
(金型) | 28. 福 助 |
| 10. トヨタ通商
(物流) | 29. 三井ハイテク |
| 11. 関西ペイント | 30. 徳山曹達 |
| 12. 出光興産 | 31. 丸善食品工業 |
| 13. トヨタ紡織
(シート) | 32. 矢崎総業 |
| 14. 亜細亜商事 | 33. 日本精研工業 |
| 15. 岡谷銅機 | 34. ヤマハ |
| 16. トヨタ通商
(資源リサイクル) | 35. ハナコメディカル |
| 17. トヨタ紡織
(内装) | 36. 関西ペイント |
| 18. 日本郵船 | 37. テクノホールディングス |
| 19. 大塚製薬 | 38. 長野計器 |
| | 39. パナソニック |
| | 40. イオン |
| | 41. 三菱商事
ショッピングセンター |
| | 42. 伊勢丹 |

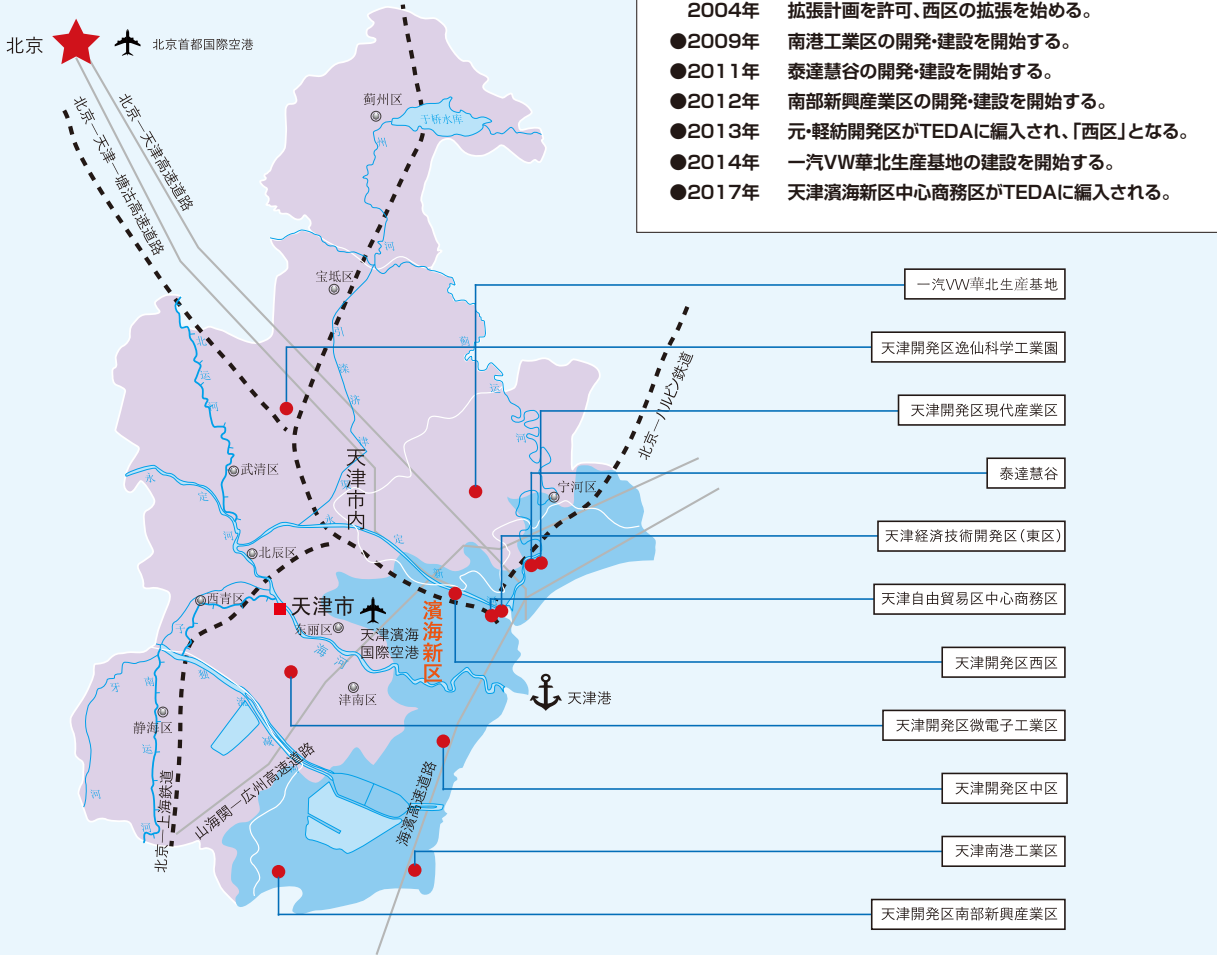


日系企業の進出状況

- ◆進出企業累計446社(2018年4月末現在)
- ◆2018年TEDAベスト100社のうち、日系企業は15社
(ベスト100社の主要経營業務収入の成長率は10.1%、営業利益の成長率は33%)

発展の一途をたどるTEDA

35年前、33km²の開発からスタートしたTEDAは、その驚異的な発展を遂げ、現在東区のほかに西区をはじめとする計10ヵ所の副産業団地が生まれています。



天津經濟技術開發区(東区)(1984年設立)

中国国务院の批准によって設立されたもので、14の国家レベル開發区の一つです。優れた投資環境と整備された1級レベルのインフラは世界から高い評価を受け、現在は製造業基地として発展を続けています。

●面積40km² ●北京まで120km ●天津市中心部まで45km
●天津港まで5km ●天津濱海國際空港まで38km

微電子工業区(1996年設立)

きわめて良好な気候に恵まれ、電子部品と携帯電話の製造を主とする中国最大の電子部品生産基地です。中央政府の産業計画により、将来は国家のマイクロエレクトロニクス産業の拠点として「中国のシリコンバレー」に成長することが期待されています。

●面積4.6km² ●北京まで120km ●天津市中心部まで15km
●天津港まで56km ●天津濱海國際空港まで16km ●開發区メイン区まで50km

西 区(2003年設立)

増加の一途を辿るTEDAへの海外資本に対応するため、新たにメイン区西方に整備されたものです。インフラおよび投資家に対する優遇措置や施設などもメイン区と同等のレベルとなっています。

●面積48km² ●北京まで100km ●天津市中心部まで28km
●天津港まで20km ●天津濱海國際空港まで18km ●開發区メイン区まで15km

南部新興工業区(2012年設立)

主にハイテク産業、近代製造業、R&Dセンターおよび近代サービス業を重点とし、電子通信産業、近代製造業、新エネルギー新素材産業、食品産業、物流産業等、TEDAの発展的未來型産業区として位置付けられています。

●面積27.6km² ●北京まで150km ●天津市中心部まで50km
●天津港まで50km ●天津濱海國際空港まで50km ●開發区メイン区まで50km

一汽VW華北生産基地(2014年設立)

108万m²の面積をもち、A-SUVモデル車とAudiQ3の生産を行っています。年間売上高は550億元を超え、従業員数は約6000人。「スマートファクトリー、デジタルファクトリー、そして環境にやさしいファクトリー」を創造するために世界をリードするさまざまな技術を採用しています。

●面積8.78km² ●北京まで140km ●天津市中心部まで50km
●天津港まで45km ●天津濱海國際空港まで37km ●開發区メイン区まで40km

逸仙科学工業園(1996年設立)

天津市と北京との中間に位置し、平坦な地勢はハイテク産業に最適の条件とされ、北京・天津の自動車、電子産業企業が進出しています。

また、この地方は伝統的な教育県であることから高学歴者が多く、さらに北京とのアクセスを利用して中国全土から優れた人材が集中します。

●面積10km² ●北京まで72km ●天津市中心部まで30km
●天津港まで80km ●天津濱海國際空港まで40km ●開發区メイン区まで70km

現代産業区・泰達慧谷(1996年設立)

TEDAの北に位置し、先進的製造業と研究開発を産業に転化する高水準な基地です。濱海新区の未來型科学技術および循環經濟のトップランナー、また先進的製造業とハイテク産業を重点産業とし、科学研究開発、文化商業など第三次産業を補助産業として相互発展を図り、総合的な現代産業区を構築しています。

●面積27km² ●北京まで140km ●天津市中心部まで61km
●天津港まで20km ●天津濱海國際空港まで40km ●開發区メイン区まで15km

南港工業区(2009年設立)

石油化学、冶金裝備製造を中核とする重化学工業生産の基地として建設が進んでいます。天津市の産業競争力を高め、世界の重化学工業への参画と産業の集積を図り、「南港工業区一大港一静海一河北」ないし中西部發展の中核となり、世界レベルの重化学工業エリアとなることが期待されています。

●面積200km² ●北京まで165km ●天津市中心部まで45km
●天津港まで25km ●天津濱海國際空港まで40km ●開發区メイン区まで20km

輕紡經濟区(2013年設立)

石油化学関連産業の發展促進の一方で、新素材、バイオ医薬品、ハイエンド機器製造プロジェクトなどの産業を統合しています。中国北部の光纖物産基地、新素材および生物医学産業クラスター、ハイエンド機器製造プロジェクトの実施区域であり、都市拡大実証区域および住みやすい都市区域として成長を図っています。

●面積58km² ●北京まで150km ●天津市中心部まで50km ●天津港まで30km
●天津濱海國際空港まで60km ●開發区メイン区まで25km

中心商務区(2017年設立)

金融イノベーションを核としたサービス産業集積区と位置付けられています。金融イノベーションは各種ファンド、決済センター、要素市場、金融リース、ファクタリング等の業態を投資促進の対象としています。

また、濱海新区党委員会、区政府、行政審査批准局、出入国管理局、品質技術監督局などの行政機関が相次いで設立され、人的交流、企業・個人の各種手続きの円滑化に大きな役割を果たしています。

●面積3.5km² ●北京まで120km ●天津市中心部まで45km ●天津港まで8km
●天津濱海國際空港まで50km ●開發区メイン区まで2km

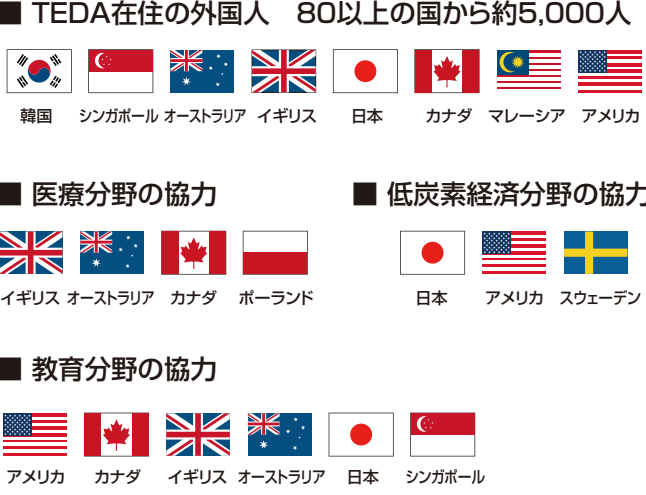
マーケットシェア



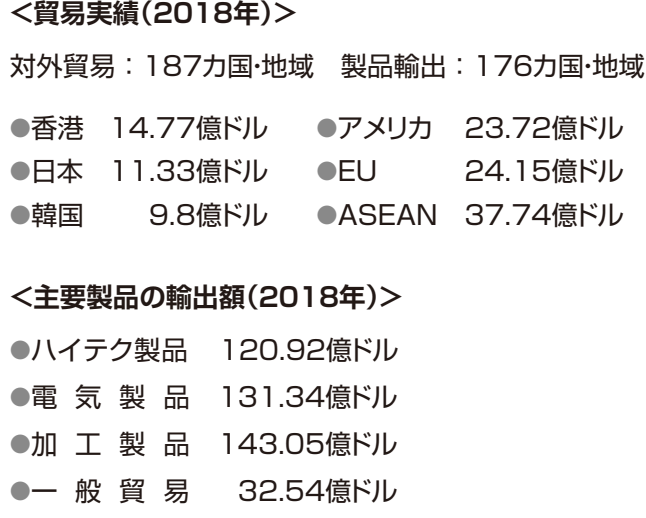
土地・オフィスビル・工場棟の確保

- 土地:およそ130km²の土地を確保(工業用地、住宅用地、商業用地)
- オフィスビル:390万m²を確保
- レンタル工場:100万m²以上を確保

国際交流



貿易促進



産業概要

2018年、天津開発区における自動車産業の生産高は**1357億元**であり、天津市の自動車産業のおよそ**64%**を占めている。完成車とエンジン、変速機、自動車用電子機器、自動車金型、タイヤ、塗料などのコア部品を網羅しており、国内ブランドと合併ブランドは、多種多様なシリーズと車種のラインアップを揃え、完備された自動車産業チェーンが形成されている。

■ 産業集積

天津経済技術開発区には一汽フォルクスワーゲン（一汽VWと略す）、一汽トヨタ、長城自動車、星馬自動車、清源電動車の5社の完成車メーカーがある。一汽トヨタ系、長城自動車系、一汽VW系を中心に、天津開発区の自動車産業は著しい成長を遂げ、集積発展の勢いをみせ、自動車産業の「三者鼎立」が形成されている。

■ 一汽トヨタ

天津一汽トヨタ自動車有限公司は2000年に設立され、現在は年間生産量が5.3万台に達する2つの現代化大型製造基地を有している。VIOS、カローラ、クラウン、カローラREIZ、RAV4、カローラハイブリッドなどのモデルを相次いで発売した。2017年の生産量は**51.67万台**に達した。



一汽トヨタ第四工場の間年生産能力（キャパシティ）は**20万台**である。2020年には**15種類**以上の新車種を導入し、年間販売量は**100万台**の台に達する見通しである。

■ 長城自動車



2018年の生産量は**30万台**
長城自動車股分有限公司の天津生産基地への投資総額は**126.7億元**
敷地面積は**6000ムー**（1ムーは**6.667アール**）以上
位置付け：HAVAL（SUV）、セダンの製造
（現）主要車種：HAVAL H6
市場での保有量：**100万台**以上

■ 一汽フォルクスワーゲン



一汽フォルクスワーゲン自動車有限公司天津支社の敷地面積は**108万㎡**、投資額は**194.85億元**である。新型SUVを2車種製造し、年間生産能力は**30万台**、年間販売量は**550億元**に達する見込みであり、従業員数は**5949人**である。製品の販売に伴い、市場規模に基づき生産能力拡大も視野に入れており、将来の生産規模は**40万台**を見込んでいる。一汽VW天津プロジェクトは2018年8月30日に本格稼働し、初のモデルTAYRONは同年10月から市販されている。

■ 天津開発区には**200社**以上の自動車部品メーカーがあり、VW系、トヨタ系、長城系に代表される合併ブランドと国内ブランド、完成車からコア部品にいたる産業集積クラスターが形成されている。エンジン、自動車用電子機器、自動車部品、自動車金型、タイヤ、塗料など産業チェーンが整備されている。



更に、天津開発区にはVW、アウディ、アイシンAW、長城など4つの変速機プロジェクトが進出しており、2018年の生産量は84万台に達した。2018年、NXPセミコンダクターズ、コンチネンタル、デンソー、矢崎、現代モビリスなどの自動車用電子部品業者の自動車用電子機器の年間生産量は246万個に達した。また、アイシン、信泰、敏信、スタンレーなどの車体部品メーカーとクムホタイヤ、立中車輪、Dicastalホイールに代表される車輪メーカーなどがある。

	企業数	代表企業	主要製品及びサービス
川上産業	30	HYSCO 中興電機 中興電機 posco	塗料、鉄鋼、合金、炭素、線材、金型など
部品メーカー	140	TAMU 東洋 東洋 DENSO YAZAKI AISIN 東信 東信 Continental	変速機、自動車用電子機器、シート、エンジン、ワイヤー、ネスなど
R&D	17	一汽丰田 AVL 東信	
自動車サービス業		東信 東信 東信 東信 東信 東信 東信 東信 東信 東信	自動車金融、物流、部品センター、展示プラットフォーム

■ 技術レベル及び研究開発現状

一汽トヨタ技術研究開発センター、クムホタイヤ研究開発センター、富士通テン、一汽夏利汽車研究院などのハイレベルの自動車研究開発機構が進出している。さらに、中国初の新エネルギー車の生産資格を持つ天津清源電動車両有限責任会社がある。

国内研究開発機関（6社）

清源電動車研究開発センター

一汽夏利研究開発センター

中国自動車技術研究センター自動車工程院

重慶技術研究センター

天津電動車・ハイブリッド車研究センター

天津ラビッドプロトタイプ技術工程センター

外資研究開発機構（6社）

STANLEY

スタンレー電気

FUJITSU TEN

富士通テン電子

Panasonic

パナソニックAS開発天津有限会社

KUMHO TIRE
クムホタイヤ

AVL

AVL研究開発センター

一汽丰田

一汽トヨタ技術研究開発センター

産業優位性

- 国家クラス自動車・自動車部品輸出基地
- 第一陣の「国家新型工業化産業モデル基地」（自動車産業）
- 清源電動車産業化モデル基地、低炭素経済モデル区
- 環渤海地域完成車・自動車部品産業集積クラスターの中核
- 天津市自動車産業の主要集積地
- 自動車用電子機器の生産高一国内首位

